

OBOG の交流広場に寄せて

東北大学 OB 築地 佑太

2010 年東北大学卒の築地です。大学の大先輩で国公立大学卓球連盟理事である佐藤さんより依頼をいただきましたので、僭越ながら寄稿させていただきます。

大学時代の卓球生活を振り返ると、全国国公立大学卓球大会(通称:全国公)が真っ先に思い浮かびます。大学 1 年生の夏に初めての全国公に出場したのですが、当時男子シングルスだけで 1000 人を超える参加者がいました。あまりに参加人数が多いために、ある同級生が私に「シングルスで優勝したら家を買ってあげる」などと意味が分からないことを言っていたことを思い出します。ただ、私はなんだかんだ決勝まで勝ち進み、その同級生は「応援したいけど築地が勝つと家を買ってあげないといけないうし…」と複雑な胸中のまま試合を見ていたと後から教えてくれました。

結局、私は決勝で広島大学の荒木基亮君に敗れてしまい、準優勝に終わりました。荒木君はカットマン用の用具を使いながら、非常に緻密なオールラウンドプレーをする医学生でした。私は 3 年生時にも荒木君に敗れ、その時は 3 位という結果でした。私は当時ひたすらカットで頑張るだけの野性的な戦型でしたので、その頭腦的なプレーに憧れていました(医学生であったことでより頭腦的に見えました)。当時は荒木君さえいなければ優勝できたのに、と思ったり思わなかったり…(思ってません)。そんな荒木君ですが、社会人になってからも全国大会などで毎年のように顔をあわせています。社会人になってからはまだ対戦していませんが、そのうち対戦することになるのではないかと密かに楽しみにしています。

また、この大会の準々決勝では、熊本大 OB の佐藤亮さんとも対戦しました。佐藤さんとは、現在なんと同じ会社(タマス)で働いています。当時の試合は入社してから何回も話題に上がり、最初は佐藤さんの楽勝だった、途中から築地がすごく粘ってきた、佐藤さんのベンチにきれいな女性がいた…etc と、今でも飲み会のいい肴になっています。私は入社してからずっと佐藤さんと一緒に卓球をさせてもらい、クラブ選手権を始め色々な大会と一緒に出場させてもらいました。2017 年には自分史上初の全日本選手権(ダブルス)にも連れて行っていただき、大変良い思い出になりました。

仕事の話も少しだけさせていただきますと、私は上にも書きましたように卓球メーカーのタマスで働いております。タマスではピンとこない方もいるかもしれませんが、バタフライというブランド名であればほとんどの卓球人が見たことがあるのではないのでしょうか。私は、そのバタフライ(タマス)でラケットやラバーの研究をしております。毎週のように卓球のオープン戦に出場し、戦績も社会人になってから段々と上がってきていることから「築地は働かないで卓球の練習ばかりしてるんじゃないか」という声もち

らほら聞こえてきますが、日中は普通に働いています(若いころはほぼ毎日定時後に練習してはいましたが…)。具体的な内容はあまり記載できないのですが、次世代の用具を開発するためにサンプル作りや性能評価を日々繰り返しています。研究のほとんどは失敗に終わってしまうのですが、たまに訪れる成功のために研究を続けております。この業務に携わっておりますと、トップ選手の試打相手をできることもあります。世界レベルの打球を実際に味わうことができ、一卓球愛好家としても貴重な体験をさせていただいております。私の場合、仕事が卓球で趣味も卓球ですので、人生が卓球一色になってしまうのですが、それに抵抗がない私のような人間にとっては非常に恵まれた職場であると感じております。

また弊社は、先に紹介した佐藤さんの他にも国公立大学の卓球部出身の人が多く在籍しています。全国公 OBOG 大会にも、タマス混成チームとして出場していたこともあるそうです。私は、以前このコーナーに寄稿していた京都大 OB で全国公チャンピオンの丹羽明彦さんと同じオフィスで働かせていただいております。近年は東北大学の後輩も入社し、一緒にクラブ選手権に参加するなど、東北大学派閥も着々と育っています(派閥なんて一切ありません)。

駄文で大変恐縮ですが、私の全国公の思い出や近況を紹介させていただきました。全国公が繋いでくれた縁に感謝致しまして、寄稿とさせていただければと思います。